



## 第16回エコパークかごしま安全監視委員会について

8月22日(木)に第16回「エコパークかごしま安全監視委員会」が開催され、当会社から廃棄物の搬入状況や埋立状況、環境モニタリングの実施状況について報告した後、覆蓋施設内の散水や埋立作業の状況を確認してもらいました。



見学者デッキより、覆蓋施設内を見学している様子

各委員からは、「埋立地の内部環境としては、安定化に向けて順調に進んでいる。」「生活環境保全上も支障がない状態で順調に運営されている。」「順調に全てが進行していることが確認できた。」などの意見があり、委員長からは、「エコパークかごしまが安全に稼働していることが確認できた。」との意見をいただきました。

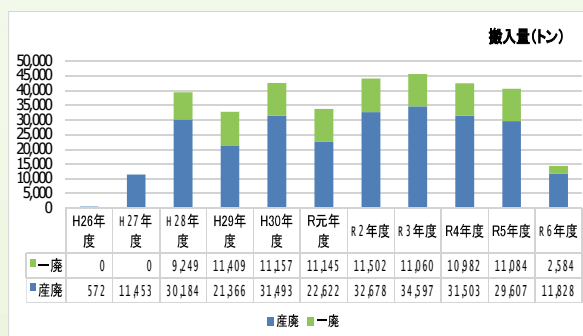
## 廃棄物の受入状況について

令和5年度の搬入量は、4万691トンで、4年連続で4万トンを超えました。

〈令和6年8月末現在〉

廃棄物の種類	搬入量(トン)	割合(%)
燃え殻(一般廃棄物を含む)	158,925	45.66
がれき類(廃石膏ボードを含む)	61,104	17.55
汚泥	36,936	10.61
ガラスくず, コンクリートくず及び陶磁器くず	30,701	8.82
ばいじん(一般廃棄物を含む)	30,175	8.67
木くず	15,229	4.38
廃プラスチック	7,255	2.08
13号廃棄物	4,466	1.28
鋳さい	1,749	0.50
動植物性残さ	738	0.21
金属くず	321	0.09
紙くず	287	0.08
繊維くず	190	0.06
合計	348,076	100.00

※小数点以下四捨五入のため合計と一致しません。



平成27年1月の開業から今年8月末までに約34万8千トンの廃棄物を受け入れています。

廃棄物の種類は、多い順に、燃え殻(一般廃棄物を含む)、がれき類(廃石膏ボードを含む)、汚泥となっており、この3種類で全体の約4分の3を占めています。

# 教えて！エコパーク先生！



みなさんこんにちは！  
 前は、車の整備工場や飲食店で発生する廃油の混じった  
 廃水の処理について勉強しましたね。

油と水の比重差を利用して油を分離して、分離した油は、ボ  
 イラー等の燃料としてリサイクルされているんだよね。

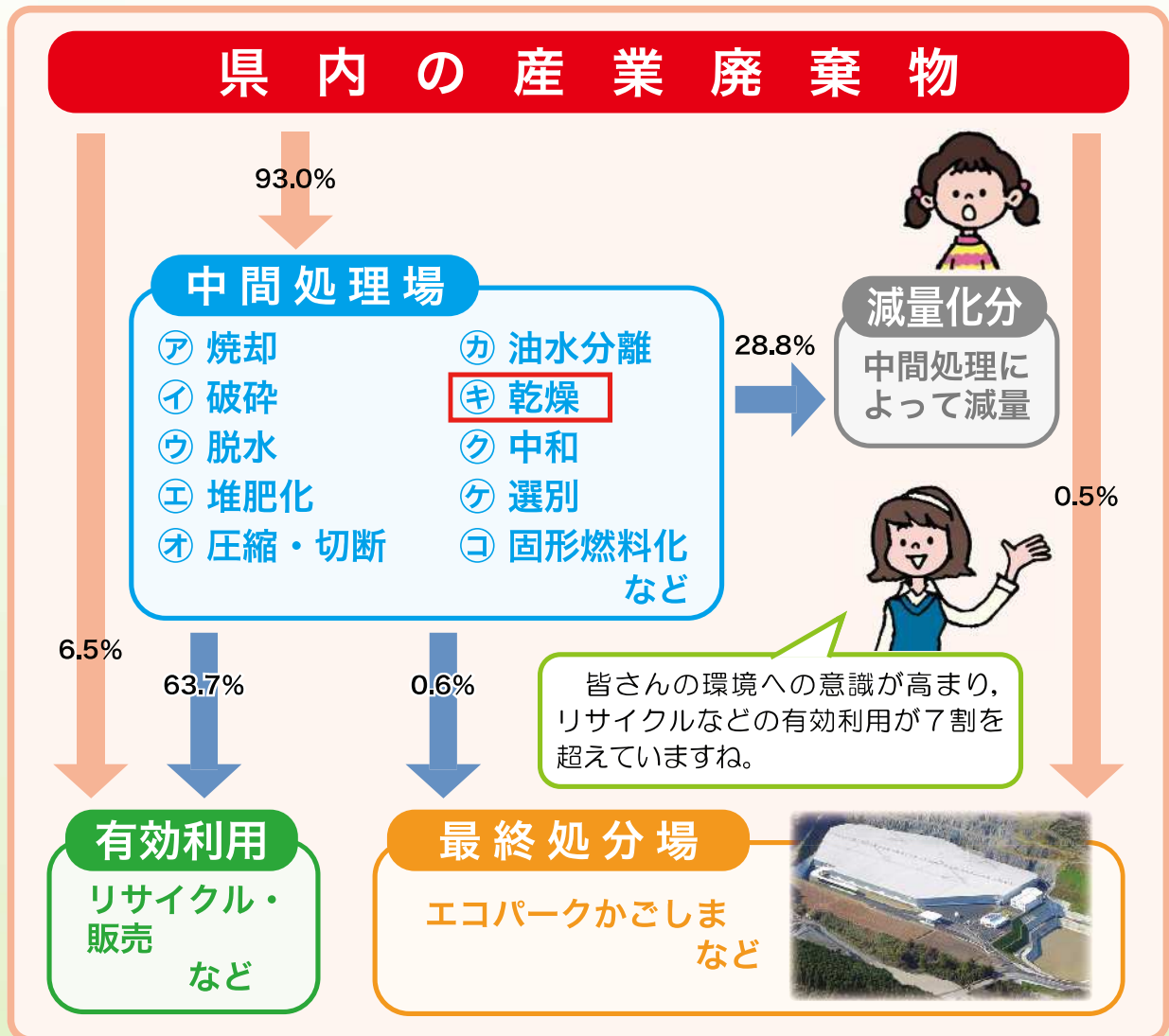


廃棄物を処理して有効利用する技術ってすごいよね。  
 今回はどんなことを教えてくれるのかな。



今回は、㊦乾燥について勉強していきましょう。

## 産業廃棄物の流れ





乾燥は、水を含んだ汚泥等を処分する方法の一つです。

水を含んだ汚泥はどこで発生するのかな？



水を含んだ汚泥は、浄水場や建設現場等で発生しています。今回はその乾燥の方法について一緒に見ていきましょう。

## 【♯ 乾燥】

乾燥は、汚泥などの廃棄物から水を蒸発させることにより、含水率を下げ、減量化することを目的とした方法です。

天日乾燥のような自然乾燥や設備を用いて熱風により乾燥させ、有効利用（リサイクル）されたり、最終処分されたりします。

### ● 乾燥（天日）による処理（例）

**乾燥前の汚泥**



浄水場などから排出される汚泥

**乾燥（天日）**



太陽光等を用いて乾燥させる

**乾燥後の汚泥**



乾燥した汚泥は、エコパークかごしま等で処分



汚泥を処理するといっても、以前勉強をした脱水や今回勉強をした乾燥などいろいろな方法があるんだね！

そうですね、次回は、中和といった処理について勉強していくので、楽しみにしてね。





## 排出事業者様にお話を伺いました！

株式会社ヒラヤマ 常務取締役兼資源循環事業部長 新村 洋平 さんにお話を伺いました。



廃棄物の適正処理や再資源化が行われる4つの中間処理施設

当社は1994年8月に創業してから、本年度で30周年を迎えました。環境保全と資源の循環事業に携わる企業として各種廃棄物の適正処理と再資源化の技術向上に積極的に取り組み、建設廃材10品目の90%以上を自社の4つの中間処理施設で再資源化する事業体系を確立してまいりました。

今後とも、地球環境の保全が全人類の最重要課題であることを強く認識し、企業活動の全ての面において地球環境の保全に模範的な企業を目指します。

当社では、中間処理の過程で発生する燃え殻、または分級施設から出るアンダー品の一部をエコパークかごしまに排出しています。

県内唯一の管理型処分場ということで、開業当時から利用させて頂いています。また当社からは一時間程度の近い距離にあり、輸送コストや環境負荷が軽減できているのでとても助かっています。

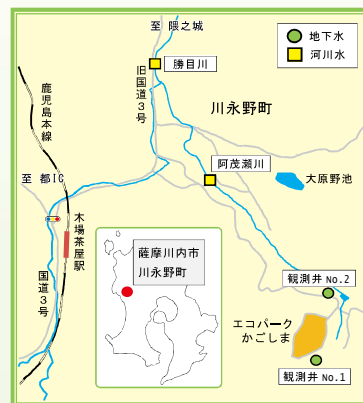
屋根付き施設のほか最新技術を導入し安全性の高い施設なので、今後ともエコパークかごしまを利用して環境配慮や産業廃棄物の適正処理に努めていきたいと考えています。



## 環境調査結果について

環境保全協定や関係法令等に基づき、周辺の水質（地下水及び河川水）の測定を実施しています。また、年に1回、悪臭調査や騒音振動調査等を行っており、いずれも異常は認められませんでした。

調査結果は、エコパークかごしまのホームページに掲載しています。



(阿茂瀬川の水質調査)



(勝目川の水質調査)

## 環境学習の受入れについて



最終処分場の役割や必要性などの理解を深めてもらおうと、小学生を対象に環境学習を行っています。

環境学習に役立つノートも作成していますので、是非、お問い合わせください。

環境学習に来られた方にプレゼントしているノート

### ☆ 編集後記 ☆

8月末には台風10号が薩摩川内市に上陸し、各地で猛威を振りました。被害に遭われた方々に、お見舞申し上げます。

幸いにもエコパークかごしまの施設や構造物に被害はありませんでした。今後とも、自然災害への備えをはじめ、安心・安全を第一とした施設運営に努めてまいります。

### 【問い合わせ先】

○公益財団法人鹿児島県環境整備公社  
〒895-0033 薩摩川内市川永野町6924番地11  
TEL 0996-21-1220  
FAX 0996-21-1360

※この「エコパークかごしま通信」は、当会社ホームページ(<http://www.ep-kagoshima.or.jp/>)でも閲覧いただけます。